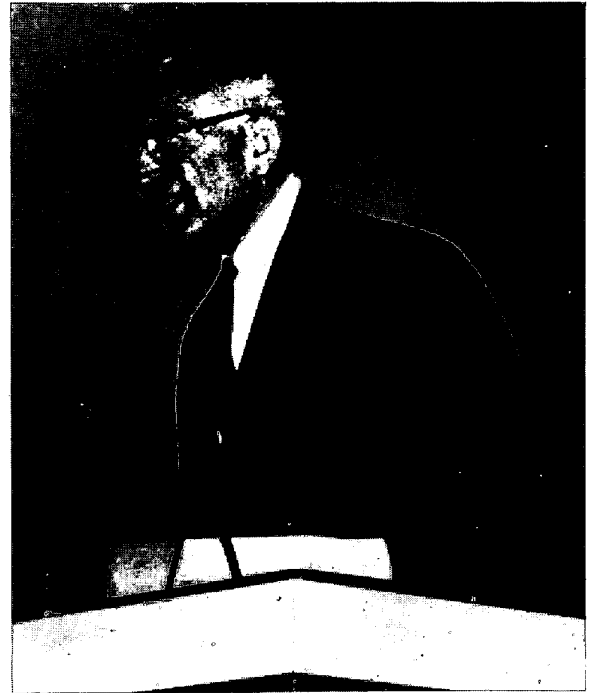


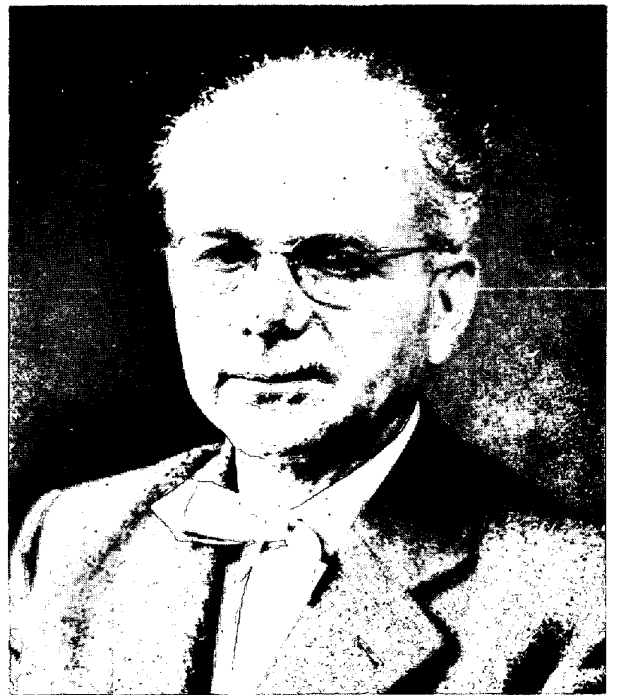
日本鉄鋼協会新名誉会員



Herbert Sedlaczek 博士



E. C. Bain 博士



Franz Wever 博士

イー・シー・ベイン博士略歴

E. C. Bain 博士は 1891 年米国に生れ、オハイオ州立大学を卒業後、ワイズコンシン大学を経て 1919 年 General Electric 社に入社、鋼の結晶構造の X 線による研究に従事、その後各社で合金鋼の研究を行い、1928 年ユー・エス・スチール社 Research and Technology 部のメンバーとなり、1943 年にカーネギー・イリノイス・スチール社の副社長に任ぜられた。

博士は米国における金属組織学の権威で 1946 年には冶金学の開拓者として Albert Sauveur Achievement 賞を授与された。わが国の研究者、留学生等で、博士の懇切なる指導誘掖を受けたものが多い。去る 4 月八幡製鉄の招聘により来朝、技術指導の任に当られ、また本会の懇請に応じ特別講演を行われた。

かくの如く博士のわが国鉄鋼業に対する功績は直接間接大なるものがある。よつて本会は 5 月 27 日博士を名誉会員に推挙した。

ヘルバート・ゼドラチェック博士略歴

Herbert Sedlaczek 博士は 1900 年 1 月ドイツ・アーヘン市に生れ、1922 年ブレスラウ大学卒業、シユレーマン会社、ドイツ特殊鋼株式会社、その他の諸会社を経て、1936 年アーヘン工業大学の冶金機械学ならびに圧延学担当の教授、1940 年ベルリン工業大学名誉教授に任命され、その後ターレ製鉄所、シレジャ合同製鉄所等を経、1955 年から再びアーヘン工業大学圧延学担当教授となった。

博士は圧延学特にロール孔型設計についての権威者で、数年前来朝された際もロール孔型改善について関係各社にアドバイスを与え作業能率向上、コスト引下げに貢献された。今回再び大同製鋼、八幡製鉄、富士製鉄 3 社の招聘により去る 8 月来朝され、技術指導に尽瘁中にあつたが、不幸にして昭和 33 年 10 月 7 日狭心症のため名古屋市の一軒宿舎において急逝された。誠に痛惜の極みである。

本会はわが鉄鋼業に対する博士の大なる功績に対し名誉会員に推挙し 10 月 11 日告別式に当り推挙状を霊前に捧げた。

フランツ・ヴェーファー博士略歴

Franz Wever 博士は 1892 年生れ、ベルリン大学およびゲッティンゲン大学卒業後、カイザー・ヴェルヘルム鉄鋼研究所に入り、終始鉄鋼材料の研究に従事し、1944 年カイザー・ヴェルヘルム鉄鋼研究所、現マックス・プランク鉄鋼研究所長となり現在に至っている。この間 1926 年ボン大学教授、1951 年ボン大学名誉教授となり、1957 年にはドイツの最高名誉である Gross Orden 章を授けられた。

博士はオーステナイトの分解機構の研究、特殊鋼中の炭化物の研究、電子顕微鏡による組織の研究等に顕著な業績をあげ、世界における鉄鋼材料界の最高指導者の一人である。この度、八幡製鉄など 13 社の招聘により来朝され、各社および大学公立研究所などの研究指導に当られ、博士のわが国鉄鋼業に対する功績は大いなるものがあるので本会は 10 月 17 日博士を名誉会員に推挙した。